

たくさん本読んで

エコ和歌山 稲成小に寄贈

田辺市稲成町のエコ和歌山は、同市の稲成小学校(柳原智美校長、162人)に、本や紙芝居計46冊を寄贈した。

「読みたい本がたくさんあってうれしい。いろんな学年に読んでもらいたい」と喜んだ。

紀陽銀行(本社・和歌山市)が、資金調達のために私募債を発行する企業から受け取る手数料の一部を使って公的団体などに寄付、寄贈する「紀陽CSR私募債」の一環。エコ和歌山は今回で2回目の寄贈となる。同校の図書室で贈呈式があり、エコ和歌山の中田祐史代表、紀陽銀行田辺連合店の阿田木淳統括支店長らが出席。中田代表が、6年生で図書委員長の尾崎烈君に目録を手渡した。尾崎君



中田代表は「私の母校であり、後輩が勉強しているところで少しでも地域貢献ができればと思っただけで寄贈した。たくさん読んでもらえたらうれしい」と話した。

図書委員長の尾崎烈君(右)に目録を手渡すエコ和歌山の中田祐史代表(左)と田辺市稲成町で